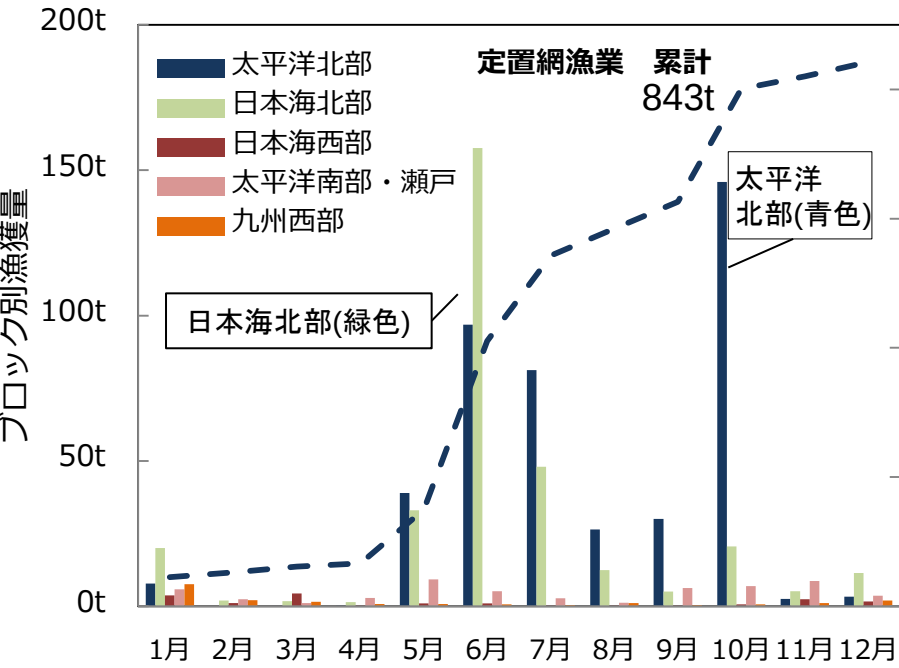


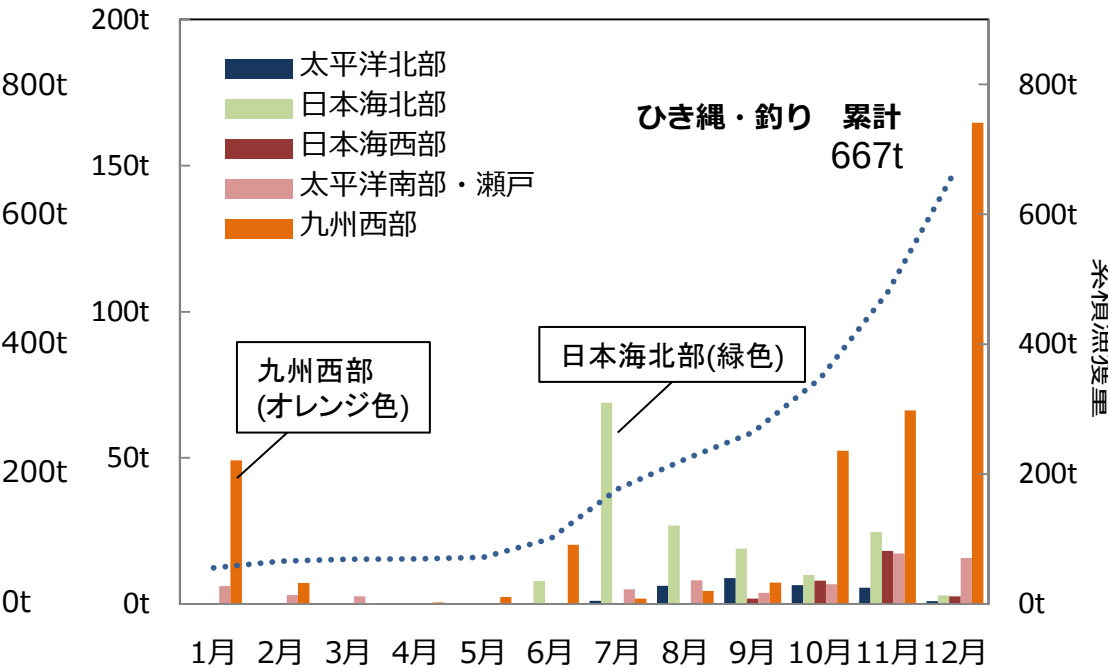
(参考資料)

(参考)H27年漁獲状況の漁法別比較①

H27年														
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
大臣	大中まき網漁業	246t	0t	0t	0t	11t	549t	114t	0t	0t	0t	0t	3t	923t
	近海竿釣り漁業等	3t	3t	2t	1t	2t	3t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	13t
	小計	249t	3t	2t	1t	13t	551t	114t	0t	0t	0t	0t	3t	937t
沿岸	ひき縄・釣り	56t	10t	3t	1t	2t	28t	77t	46t	41t	84t	132t	187t	667t
	定置網漁業	45t	8t	9t	5t	83t	261t	133t	41t	42t	175t	20t	22t	843t
	その他	1t	0t	1t	1t	0t	3t	6t	8t	4t	5t	2t	2t	33t
	小計	101t	18t	13t	7t	85t	293t	215t	95t	87t	264t	154t	211t	1542t
合計		350t	21t	14t	8t	98t	844t	329t	95t	88t	264t	154t	213t	2,479t



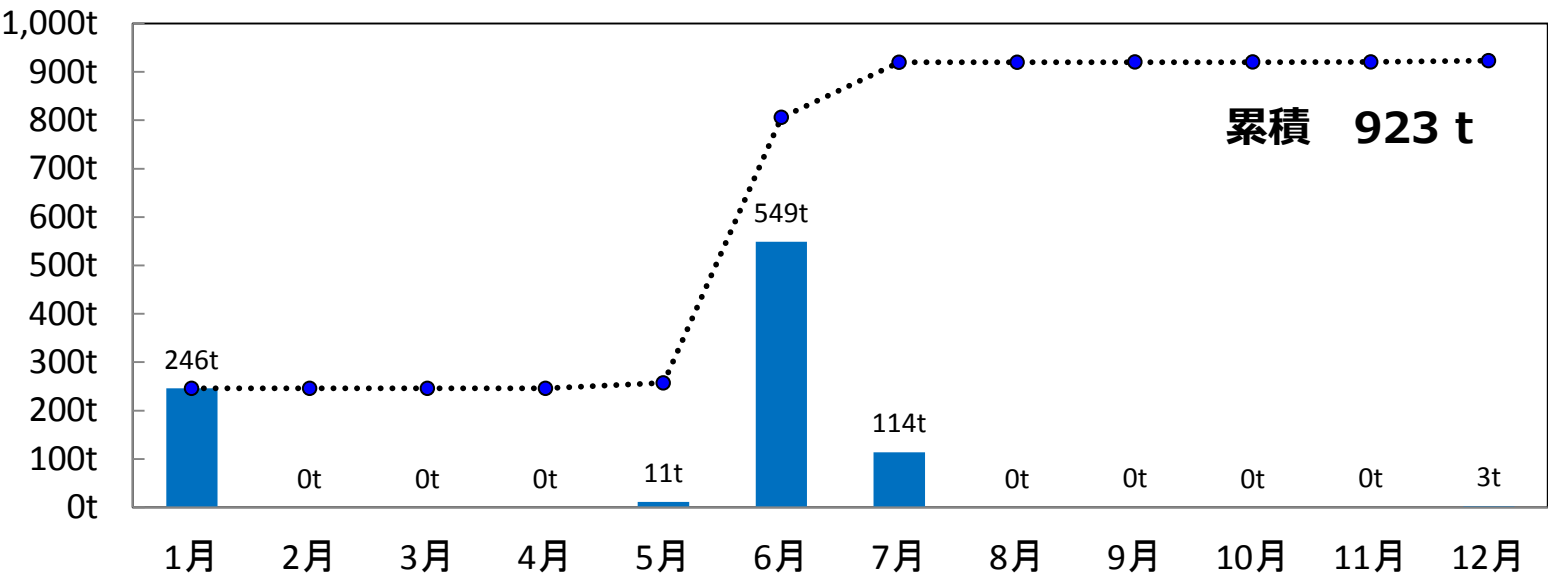
定置網漁業の累計漁獲量と月毎のブロック別漁獲量



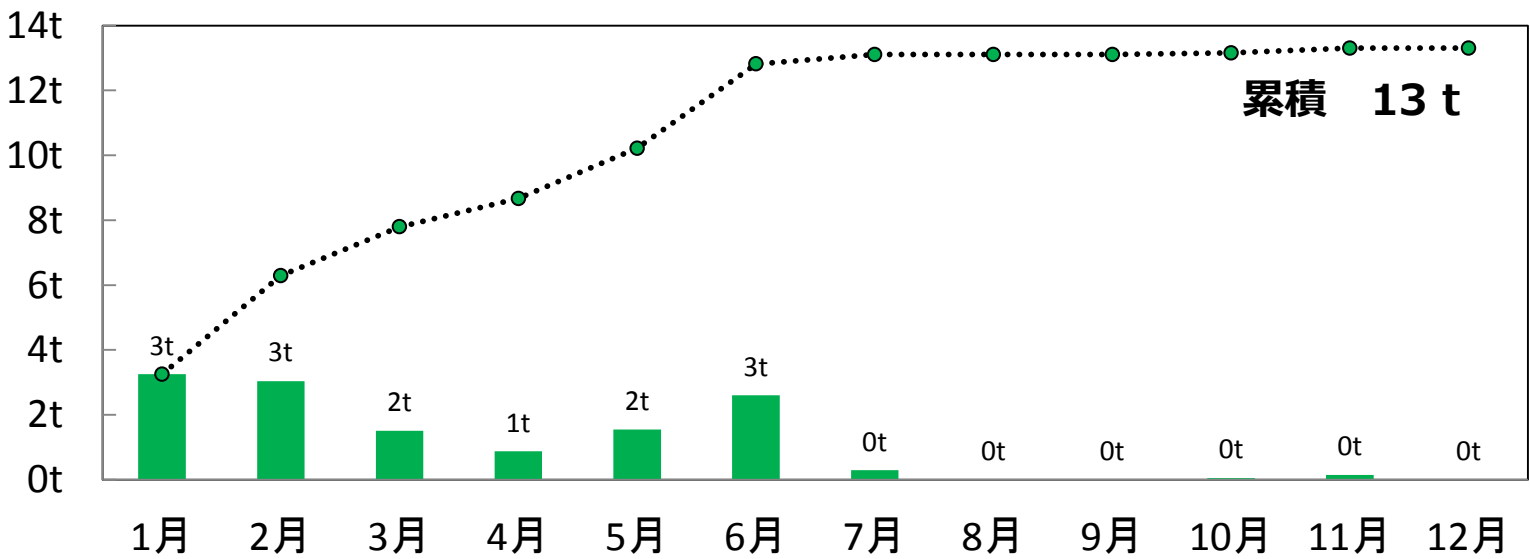
ひき縄・釣り等の累計漁獲量と月毎のブロック別漁獲量

(参考)H27年漁獲状況の漁法別比較②

大中型まき網漁業の累計漁獲量



近海竿釣り漁業等の累計漁獲量



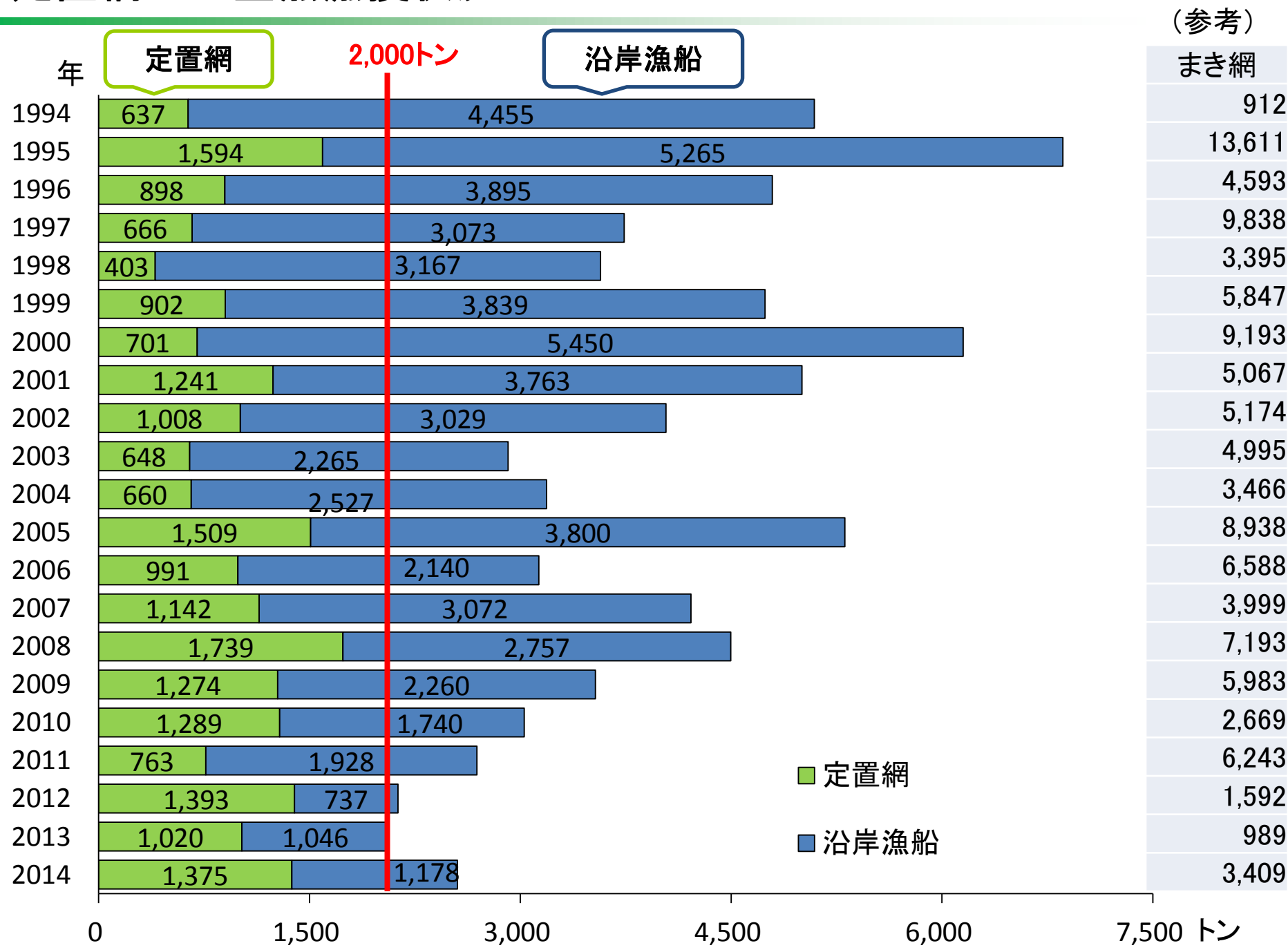
・太平洋クロマグロの国別漁獲状況

トン

年	日本		韓国		台湾		メキシコ		米国		その他		合計		総計
	小型魚	大型魚	小型魚	大型魚	小型魚	大型魚	小型魚	大型魚	小型魚	大型魚	小型魚	大型魚	小型魚	大型魚	
1994	6,165	9,021	50			559	51	14	822	232		2	7,088	9,828	16,916
1995	20,740	6,350	821			337	10	1	918	46		2	22,490	6,736	29,226
1996	9,480	4,527	102			956	3,482	218	4,470	279		4	17,534	5,985	23,519
1997	13,610	5,242	1,054			1,814	287	81	1,984	546		14	16,935	7,697	24,632
1998	7,049	4,142	188			1,910	1	0	1,923	542		20	9,161	6,614	15,775
1999	10,624	12,004	256			3,089	2,239	165	722	87		21	13,841	15,366	29,207
2000	15,445	9,132	2,401			2,782	2,902	216	1,024	72		21	21,772	12,223	33,995
2001	10,251	3,960	1,186			1,843	767	97	606	89		50	12,811	6,039	18,850
2002	9,309	4,877	932			1,527	1,366	344	555	162		66	12,162	6,976	19,138
2003	7,951	2,455	2,601			1,884	2,635	619	343	92		60	13,529	5,110	18,639
2004	6,785	7,314	773			1,717	6,375	2,519	40	20		77	13,973	11,648	25,620
2005	14,796	6,872	1,318			1,370	3,778	765	237	51		27	20,129	9,084	29,213
2006	9,828	4,350	1,012			1,150	8,791	1,136	89	9		24	19,719	6,670	26,389
2007	8,520	5,308	1,281			1,411	3,227	920	45	13		24	13,068	8,559	21,626
2008	11,885	5,304	1,743	123		981	3,706	701	75	19		24	17,402	7,685	25,087
2009	9,705	4,325	901	34		888	2,709	310	525	66		24	13,837	6,219	20,055
2010	5,941	2,459	1,128	68		409	5,731	2,015	95	28		24	12,454	5,331	17,785
2011	9,104	3,900	670	1		316	1,866	865	414	205		24	12,078	6,069	18,147
2012	4,101	1,999	1,406	16		213	5,280	1,388	516	144		24	11,017	4,253	15,270
2013	3,298	3,120	581	24		335									
2014	6,078	3,526	1,198	112		483									
02-04年の平均	8,015	4,882	1,435			1,709	3,458	1,161	312	91		67	13,221	7,911	21,133
02-04年の85% (▲15%)	6,813		1,220				2,940		266				11,238		
02-04年の50% (▲50%)	4,007		718				1,729		156				6,611		

※韓国及び台湾の2002年～2012年のデータは、ISCへの提出データ。韓国及び台湾の2001年以前のデータ、並びに～2012年の日本、メキシコ、米国及びその他については、国際水産資源研究所による推定値。2013年、2014年の日本、韓国、台湾のデータは、WCPFCへの提出データ。

・定置網の小型魚漁獲状況



・遊漁への取り組み①

○ 遊漁におけるクロマグロ採捕量調査の結果について

◇遊漁船調査

・集計方法：各都道府県から提出された採捕量を、それぞれ提出率で逆算した推計値により集計

○全重量：15.6トン（推計値） ○30kg未満重量：6.4トン（推計値）

◇プレジャーボート調査

- ・アンケートの回答数が少なく統計的に有意な推定を行うことが困難。
- ・現在のクロマグロの資源状況においては、プレジャーボートによるクロマグロの採捕量は、クロマグロ全体の採捕量に比べて、極めて少ないと考えられる。

※調査期間 平成26年1月1日～平成26年12月31日

○ 遊漁におけるクロマグロの資源管理について

＜基本的な考え方＞

遊漁におけるクロマグロの資源管理は、漁業者の操業自粛に歩調を合わせていくこととする。

- ・漁業者への操業自粛要請と同様のタイミングで遊漁者にも釣りを控えていただくよう「理解と協力」を求めていく。
- ・遊漁船業者については都道府県を通じて、プレジャーボートについては対象者が不明確なので都道府県や釣り団体の各HPやTV等の媒体を通じて呼びかけ。

・遊漁への取り組み②

- リーフレットを作成し、漁業者がクロマグロ漁を自粛している間、遊漁者にも自粛の協力を依頼。
- 各都道府県における操業自粛の状況をとりとまとめ、水産庁HPで公表し、随時更新。

クロマグロを対象とする遊漁者・遊漁船業者の皆様へ 全国の漁業者が取り組んでいる資源管理に、ご協力をお願いします！

なぜ太平洋クロマグロの 資源管理をするの？

太平洋クロマグロは、近年、資源が悪い状態が続いています。

「資源の回復のためには、小型魚の漁獲の大幅な削減が必要」と、関係各国の科学者が集まる会議で求められています。

これを受け、日本の漁業者は、一本釣り漁業からまき網漁業まで**全ての漁法で**、「30kg未満の小型魚を2002～2004年平均漁獲実績の半分までしか獲らない」という、**厳しい資源管理に取り組んでいます。**

太平洋クロマグロに関する詳しい情報(水産庁ホームページ内「くろまぐろの部屋」をご覧ください。
http://www.ifa.maff.go.jp/tuna/maguro_gyogyo/bluefinkanri.html



沿岸漁業者が取り組む 資源管理の概要

全国を6ブロックに分け、ブロックごとに年間の小型魚の漁獲量の上限を設けています。地域によっては、県別に上限目標を設定しているところもあります。

漁獲量が**上限に近づいたら**、国や都道府県の指導のもと、**漁業者は操業自粛を行います。**

【各ブロックの区分】



遊漁者・遊漁船業者 の皆様への協力のお願い

漁業者が操業を自粛している間は、同じ漁場でのクロマグロを対象とした釣りについては、**同様の自粛をお願いします。**

各都道府県における状況や具体的なお願いの内容は、**水産庁や各都道府県のホームページ等で確認してください。**

クロマグロを対象とする**遊漁船業者の皆様**には、遊漁船の登録をしている各都道府県における具体的なお願いの内容について、当該都道府県から通知があります。
もし、**他の都道府県の海域で案内を行おうとする場合には**、その海域における状況をホームページ等で確認してください。

【水産庁ホームページでの情報発信(例)】

ブロック名	都道府県名	操業自粛の方法	操業自粛開始日
●●ブロック	▲▲県	B	H27●●
	▲▲県	B	H27●●
	▲▲県	B	H27●●
	▲▲県	C	H27●●
	▲▲県	A	H27●●
	▲▲県	A	H27●●

A：全漁業者が、30kg未満以上を問わず操業自粛中。クロマグロを対象とした遊漁を控えてください。
B：全漁業者が、30kg未満を対象に操業自粛中。遊漁者は30kg以上のクロマグロを対象とした遊漁は可能ですが、30kg未満がかかった場合にはリリースしてください。
C：一部の漁業者が操業自粛中。A・B以外の形で遊漁者へのお問い合わせを実施していますので、詳しくは都道府県へ確認してください。
A～C共通：クロマグロ以外を目的とした遊漁は可能ですが、万が一30kg未満がかかった場合にはリリースしてください。

**漁業者がクロマグロ漁を自粛している間、
遊漁者の皆様にもクロマグロ採捕の自粛につき
ご理解とご協力をお願いします！**

平成27年9月 水産庁
【お問い合わせ先】
水産庁漁業調整課沿岸・遊漁室
TEL: 03-3502-8111(内線6705)

○遊漁への取り組み③

○ 遊漁者のみなさんから広く協力頂けるよう、現在、釣りに関する番組や、釣り人が多く集まる場等で、リーフレットを活用しながら協力を呼びかけ。



局名：釣りビジョン(BS:251ch)
番組名：つりステーション第505回

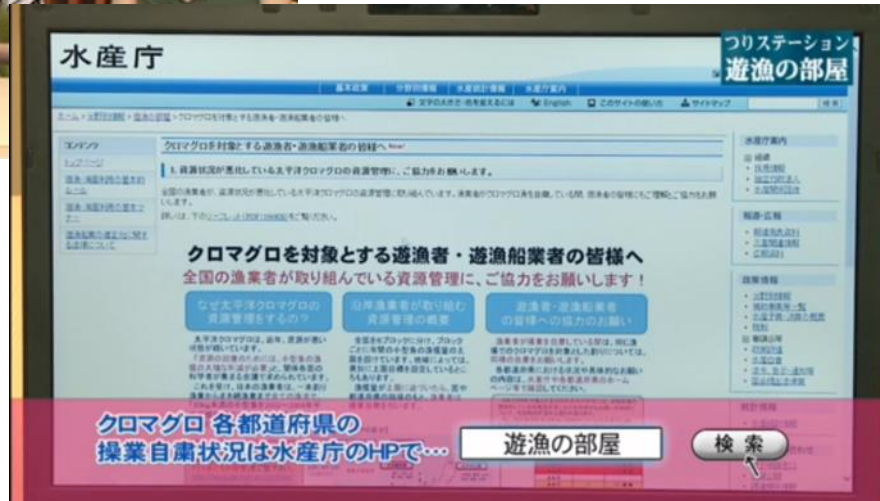
2016年2月2日(火)
水産経済新聞(7面)



初回放送：
2016年7月16日22:00～
以降再放送4回、計5回放映済み

本コーナーは釣りビジョンのホームページにて動画無料配信中

↓↓このURLで視聴が可能です。
http://www.fishing-v.jp/movie/?mv=sloc_1607_8512430_05



釣り人にトラブル回避啓発

クロマグロの資源管理にも協力求め
水産庁、フィッシングショーで

釣り市場や釣りファンの拡大に向け、1月29日から31日までの3日間、パシフィコ横浜で開催された「ジャパンフィッシングショー2016」に、水産庁が出展。釣り人と漁業者の間でトラブルが起きないように、パンフレットの配布や資料の展示を通じ、遊漁のルール・マナーの啓発活動を行った(写真)。

併せて太平洋クロマグロの資源管理について、遊漁者・遊漁船業者への協力も求めた。海域により遊漁の自粛や、30センチ未満の小型魚が掛かった場合のリリースなど、具体的なお願いは異なっている。県ごとの問い合わせ先の一覧や、遊漁の法令などリニューアルされた水産庁のホームページの活用も促した。

・ 支援策（漁業収入安定対策事業の実施）

ポイント

- 国民への水産物の安定供給を確保するため、計画的に資源管理に取り組む漁業者に対し、漁業共済・積立ぶらすの仕組みを活用した漁業収入安定対策を実施。
- 太平洋クロマグロの資源回復のため、より厳しい資源管理に取り組む漁業者を支援。

資源管理への取組

- 国・都道府県が作成する「資源管理指針」に基づき、漁業者（団体）が休漁、漁獲量制限、漁具制限等の自ら取り組む資源管理措置について記載した資源管理計画を作成し、これを確実に実施

漁業収入安定対策事業の実施

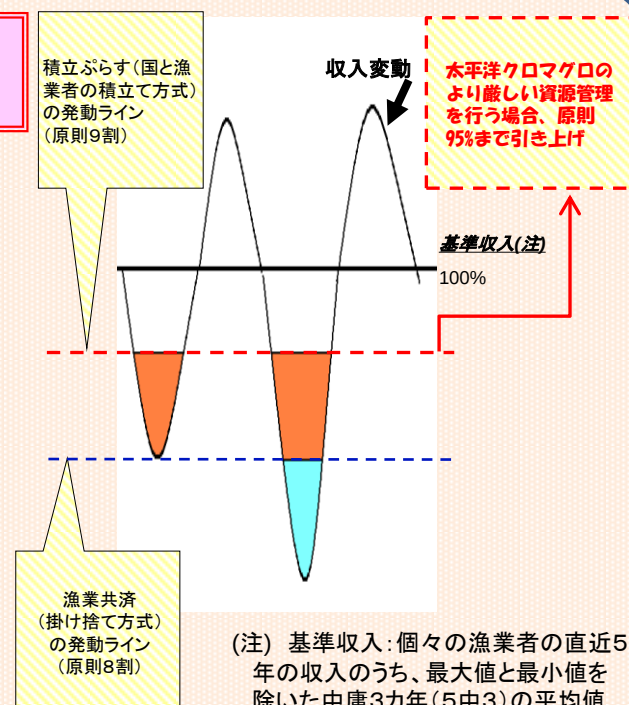
漁業共済・積立ぶらすの仕組みを活用して、資源管理の取組を支援

- ✓ 基準収入(注)から一定以上の減収が生じた場合、「漁業共済」（原則8割まで）、「積立ぶらす」（原則9割まで）により減収を補填

また、太平洋クロマグロの小型魚の漁獲量削減に伴い、厳しい資源管理に取り組む漁業者について、減収の補填割合を引き上げ

- ✓ 漁業共済の掛金の一部を補助

※ 補助額は、積立ぶらすの積立金（漁業者1：国3）の国庫負担分、共済掛金の30%（平均）に相当



・強度資源管理タイプの指針追加及び加入状況

- 太平洋クロマグロの資源回復のため、漁業収入安定対策を活用し、より厳しい資源管理に取り組む漁業者を支援(平成26年度補正予算において拡充)
- 国及び22都道府県が強度資源管理タイプを指針に追加、1,532件が加入

※平成26年度補正予算成立以降1年間(平成27年2月～平成28年1月)の加入状況

	都道府県の指針で計画されている漁業種類 【強度資源管理タイプ】	うち件数
北海道	まぐろはえなわ漁業、まぐろ一本釣り漁業、定置漁業、さけ定置漁業、小定置漁業	(26)
青森県	一本釣り漁業、はえ縄漁業、定置および底建網漁業	(122)
岩手県	定置網漁業	(13)
宮城県	定置網漁業	
秋田県	はえ漁業、釣り漁業、大型・小型定置網漁業	(3)
山形県	はえなわ漁業、一本釣り漁業	(48)
千葉県	くろまぐろひき縄漁業、定置網漁業、はえなわ漁業、つり漁業	
新潟県	定置網漁業(大型定置、小型定置)	(3)
富山県	定置漁業、釣り漁業	(34)
石川県	定置網漁業、つり漁業	(36)
福井県	定置網漁業	(4)
静岡県	定置網漁業、曳き縄漁業、釣り漁業、はえ縄漁業	(6)
三重県	沿岸まぐろはえ縄、ひき縄釣り漁業、定置網漁業	(14)

	都道府県の指針で計画されている漁業種類 【強度資源管理タイプ】	うち件数
京都府	定置網漁業	(14)
和歌山県	定置網漁業、一本釣り漁業、ひき縄釣り漁業、沿岸かつお一本釣り漁業、沿岸まぐろはえ縄漁業	
島根県	定置漁業、沿岸くろまぐろ漁業	(312)
山口県	ひきなわつり漁業	(395)
徳島県	延縄漁業、定置網漁業、釣り漁業(ひき縄釣り含む)	(13)
福岡県	ひき縄漁業、つり漁業、小型定置網漁業	
長崎県	定置網漁業、ひき縄漁業、はえ縄漁業、釣り漁業	(357)
宮崎県	まぐろ延縄漁業、旗流し漁業、まぐろ曳縄漁業、かつお一本釣り漁業	(100)
鹿児島県	沿岸くろまぐろ漁業(ひきなわ・一本釣等)、定置網漁業	(12)
	国の指針で計画されている漁業種類 【強度資源管理タイプ】	うち件数
	大中型まき網漁業	(20)

・ 大中型まき網漁業によるクロマグロ漁獲の特徴

操業海区	種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東シナ海	遠まき	小型魚				養殖用 種苗						小型魚	
日本海	山まき						大型魚						
太平洋	北まき						大型魚						

遠まき: 日本遠洋旋網漁業協同組合所属船

山まき: 山陰旋網漁業協同組合所属船

北まき: 北部太平洋まき網漁業協同組合連合会所属船

・ 定置網の技術開発の概要①

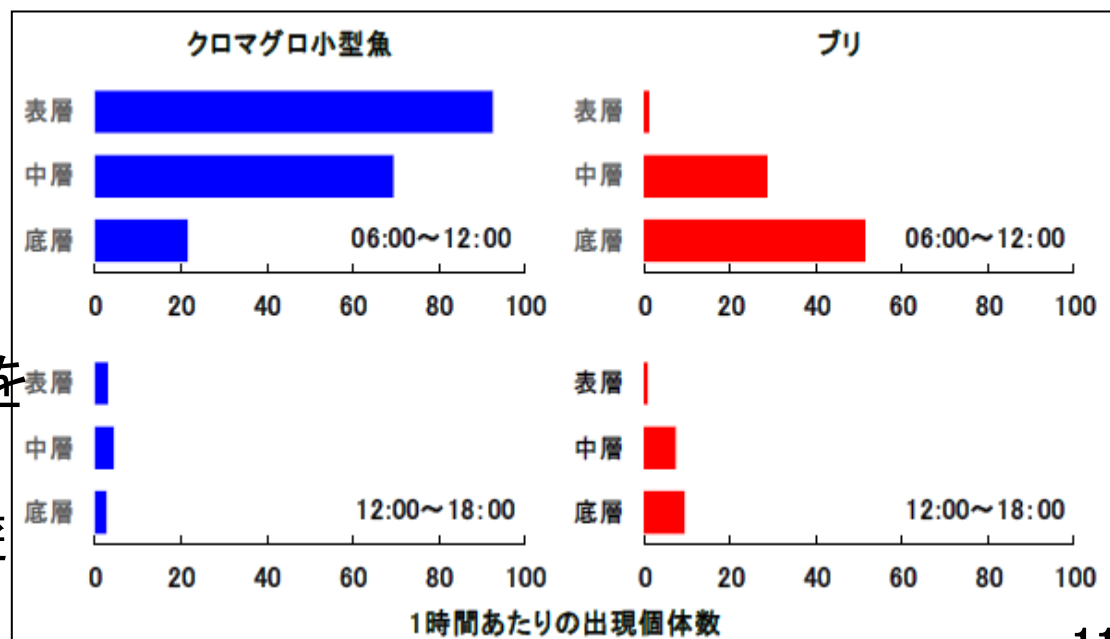
- クロマグロ小型魚と他の魚種では定置網内での行動に違いがある。
- 水面下の逃避口から放流することにより、高い生残率が期待できる。
- 今後、漁具構造の改良や操業方法の改良により、効果的な放流技術の開発を進める。

(平成26年度農林水産試験研究費補助金「定置網に入網したクロマグロ幼魚の放流技術の開発」)

○ クロマグロ小型魚とブリの遊泳層の違い1

＜クロマグロ小型魚と他魚種の行動特性の比較＞

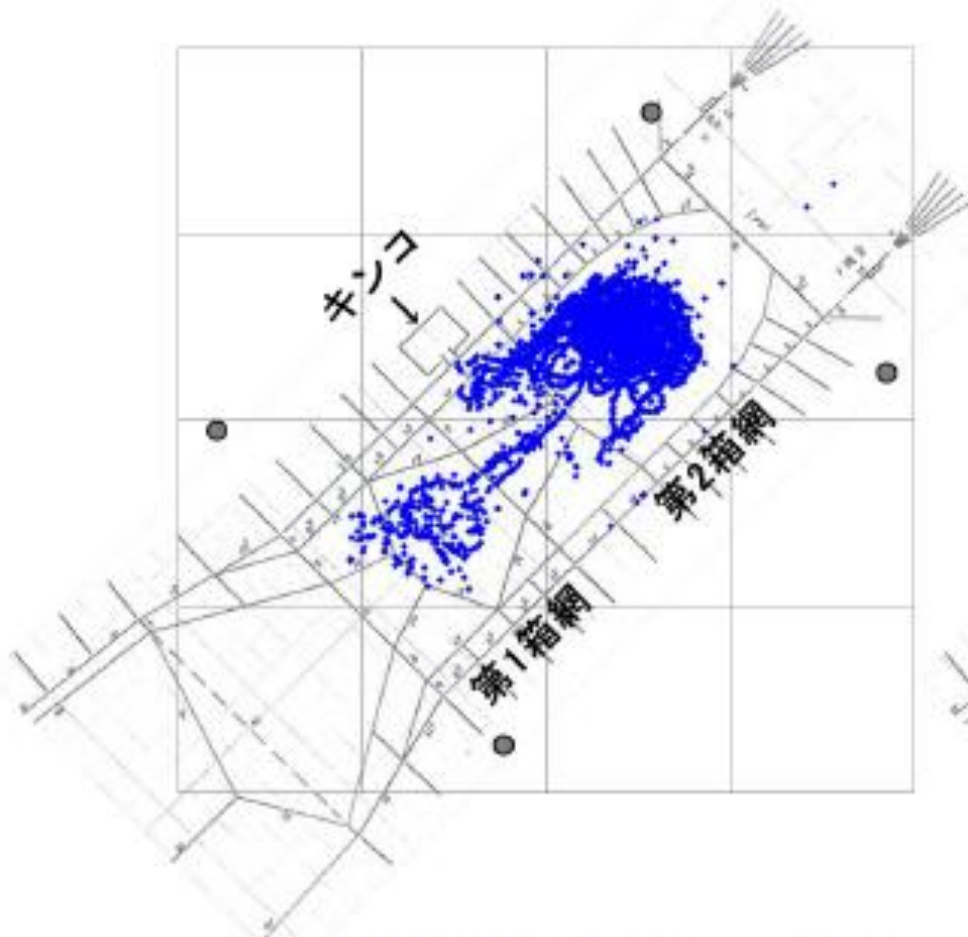
- ・水中カメラとバイオテレメリーで定置網内の魚の行動を観察した。
- ・クロマグロは表層を遊泳、ブリは底層を遊泳する傾向がみられた。
- ・クロマグロ小型魚は第1～第2箱網を往復、ブリはキンコに入網した。
- ・クロマグロ小型魚は網から離れて遊泳し、ブリは網に接近して遊泳した。



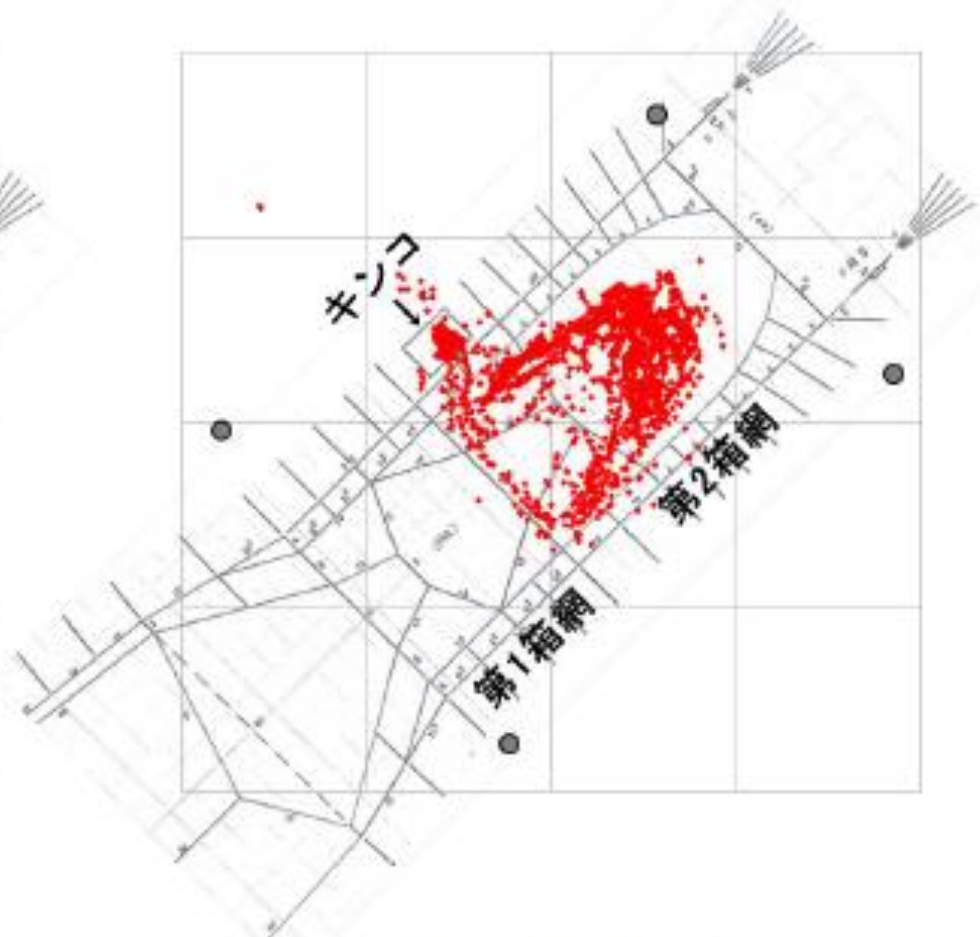
・ 定置網の技術開発の概要②

○ クロマグロ小型魚とブリの遊泳層の違い2

(2015年6月21日10:00～11:00の1秒ごとの位置データ、第1箱網の入口は閉鎖)



クロマグロ小型魚(FL:65cm)



ブリ(FL:71cm)

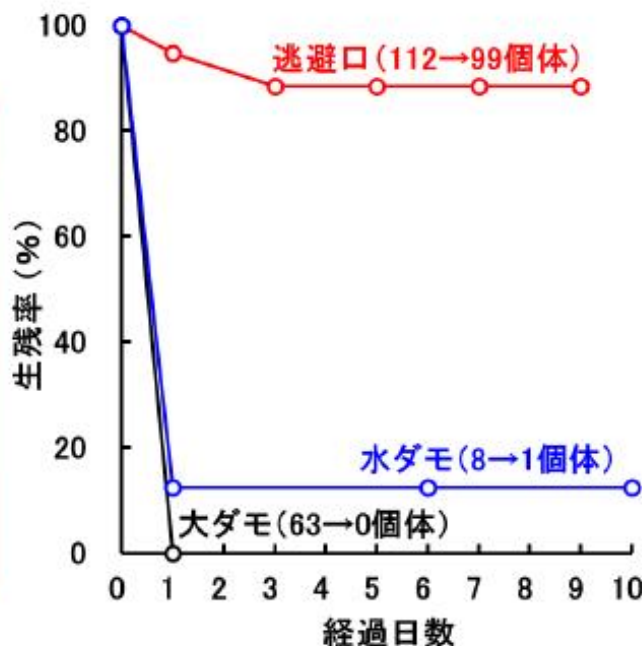
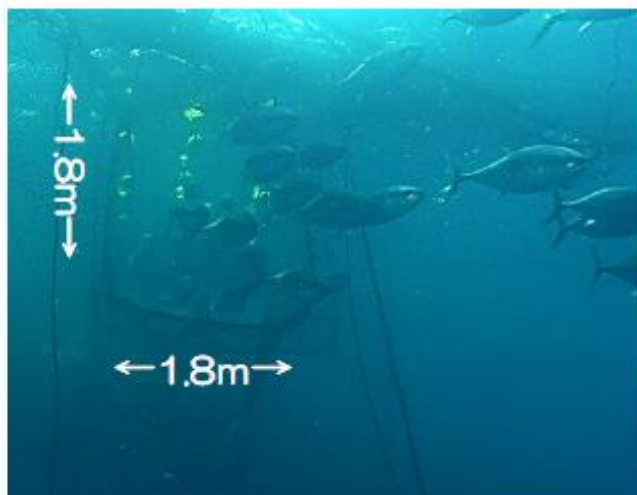
・ 定置網の技術開発の概要③

○ クロマグロ小型魚の放流方法と生残率

・ 定置網に入網したクロマグロ小型魚を以下の方法で大型円形生簀に放流した。

- ① 従来の大ダモを使用
- ② 水ダモを使用
- ③ 魚捕部に設けた逃避口を経由

・ 生残率は大ダモが0%、水ダモが13%、逃避口が88%だった。



クロマグロ幼魚放流技術開発研究グループ

国立大学法人 東京海洋大学

地方独立行政法人 青森県産業技術センター水産総合研究所

国立研究開発法人 水産総合研究センター水産工学研究所

株式会社 ホリエイ

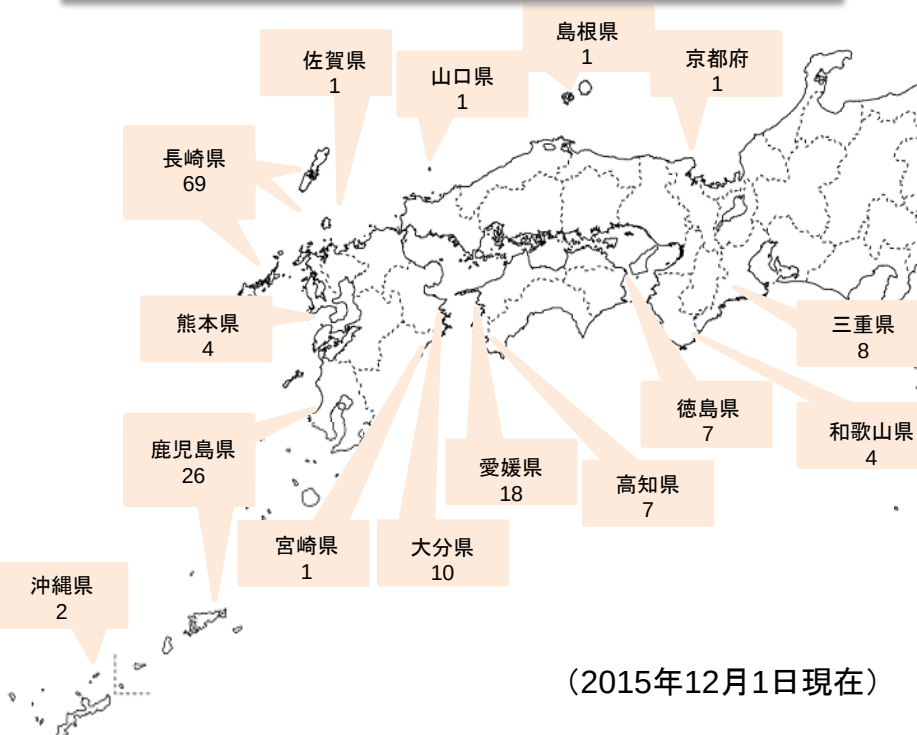
・養殖業の管理

クロマグロ養殖の実績報告の義務化

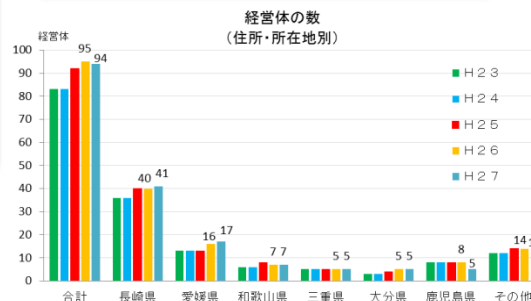
- クロマグロ養殖業者に対して、国が養殖実績（養殖施設の設置状況、種苗の入手先、活込み状況、移送状況及び出荷状況）の報告を義務付け

暦年毎にとりまとめ、2011年分から公表（毎年3月）

全国のクロマグロ養殖場
全国計：160漁場

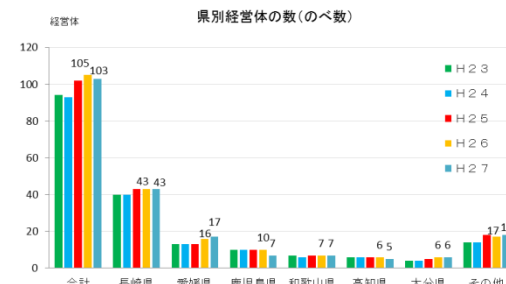


経営体の数
全国計：94経営体



注1：個人にあっては住所、法人にあっては本社の住所により計上
注2：その他は、東京都、島根県、山口県、徳島県、高知県、佐賀県、熊本県、沖縄県

県別経営体の数(のべ数)
全国計：103経営体



注1：府県内にクロマグロ養殖場を有する経営体数を計上
注2：1養殖業者が複数の府県で養殖を行っている場合はそれぞれの府県で重複して計上
注3：その他は、三重県、京都府、島根県、山口県、徳島県、佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県

クロマグロ養殖の管理強化に関する大臣指示

2012年10月26日以降、

2012年10月26日発出

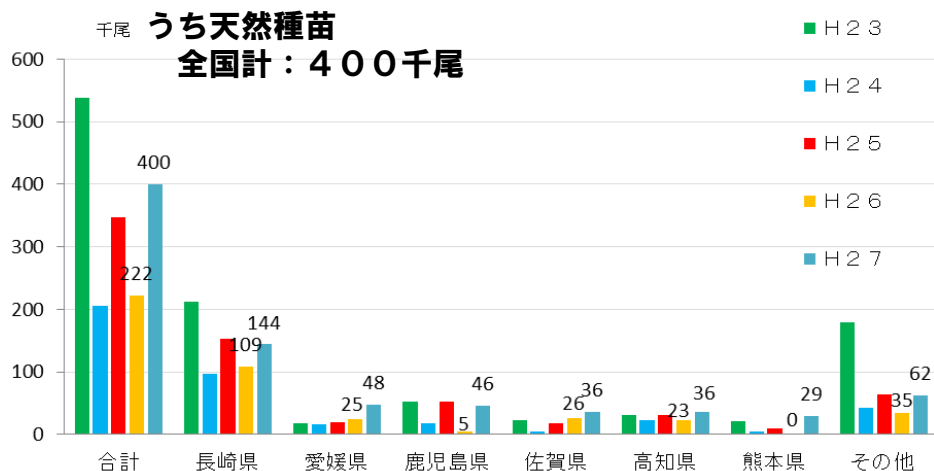
- ① 各県の1年当たりの天然種苗の活込尾数が2011年から増加するような養殖漁場の新たな設定を行わないこと。
- ② 生け簀の規模拡大により各県の1年当たりの天然種苗の活込尾数が2011年より増加することのないよう、漁業権に生け簀の台数等に係る制限・条件を付けること。

* 人工種苗向けの漁場は、上記指示の適用外

・クロマグロ養殖の現状

○種苗活込み数

全国計：948千尾（2015年）



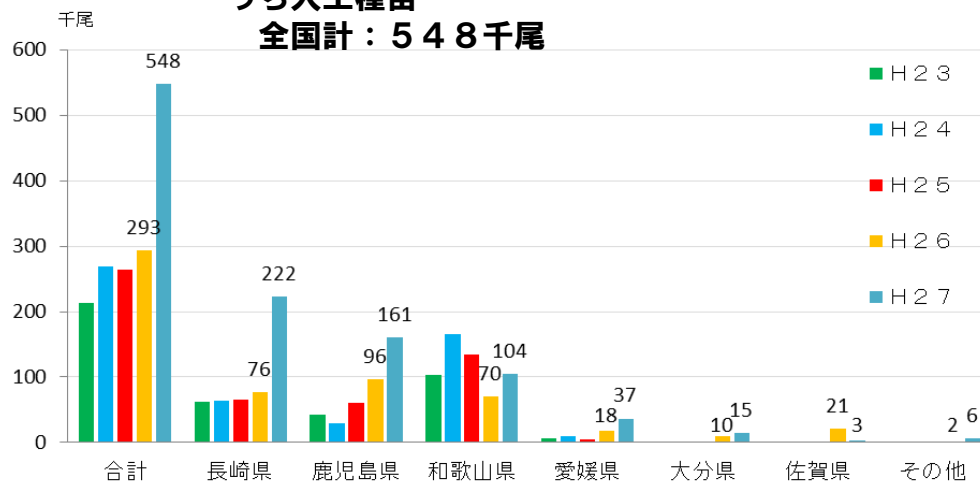
注1：その他とは、三重県、京都府、和歌山県、山口県、大分県、宮崎県、沖縄県

注2：「H27」合計値の採捕方法別内訳は、曳き縄243千尾、まき網157千尾、釣り1千尾

※活込んだ種苗は、数年の養殖期間を経た後に出荷。

うち人工種苗

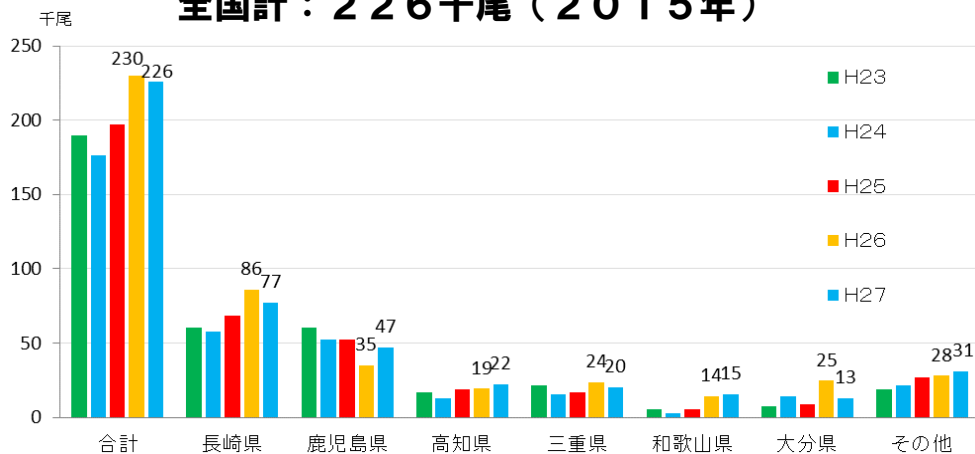
全国計：548千尾



注：人工種苗については陸上施設で種苗生産され、海面の養殖場に初めて活込まれた数であり、養殖用種苗として取引される前に海面の養殖場で死亡するものを含む

○出荷尾数

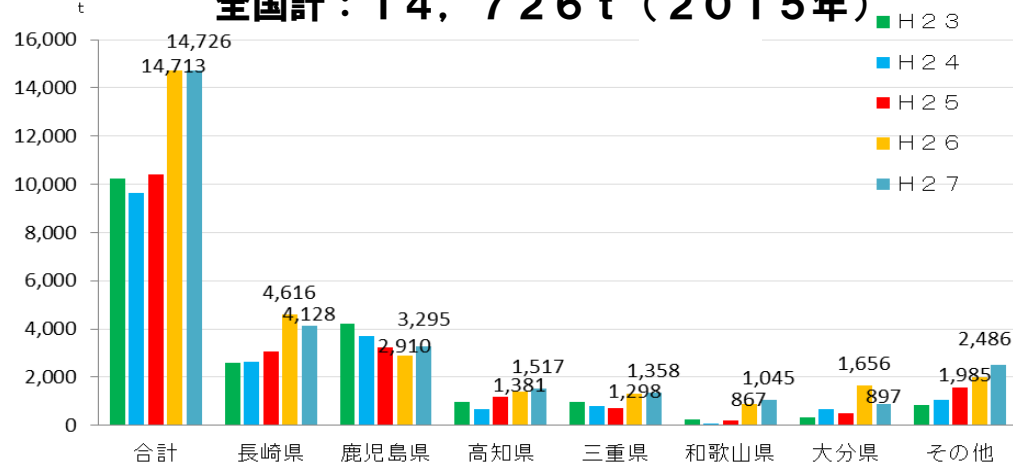
全国計：226千尾（2015年）



注：その他とは、京都府、山口県、愛媛県、熊本県、沖縄県

○出荷重量

全国計：14,726t（2015年）



注：その他とは、京都府、山口県、愛媛県、熊本県、沖縄県

韓国産太平洋クロマグロの取り扱いについて

(1) 中西部太平洋まぐろ類委員会 (WCPFC) における保存管理措置

- ① 30キロ未満の小型魚の漁獲量を2002-04年平均水準の50%削減
⇒韓国の漁獲上限は718トン
- ② 30キロ以上の大型魚の漁獲量を2002-04年平均水準から増加させないためのあらゆる可能な措置を実施
⇒韓国の2002-04年の漁獲量は0トン

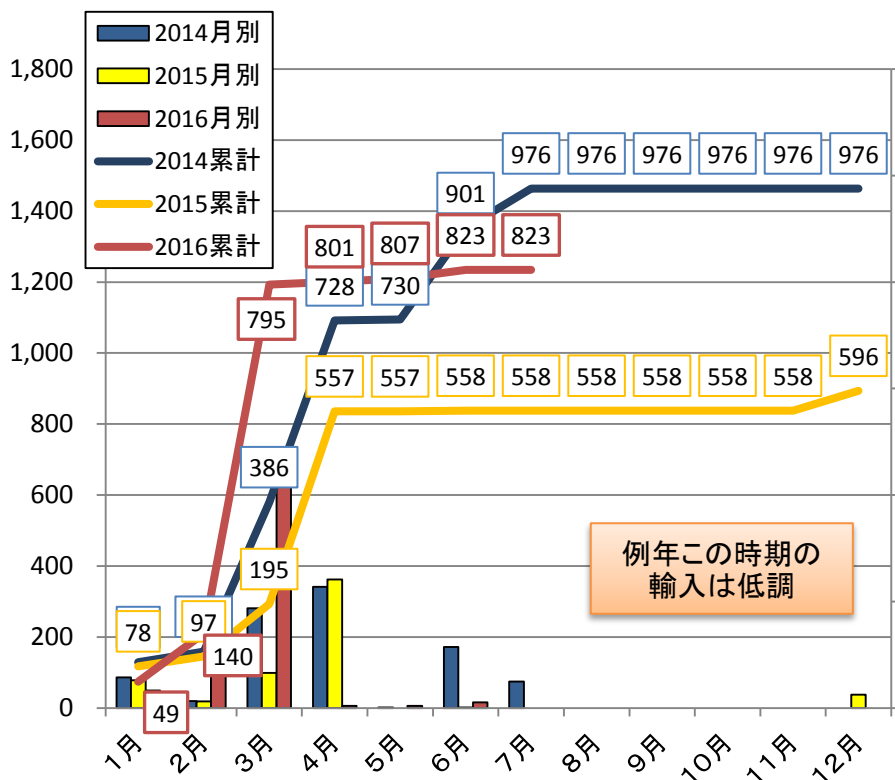
(2) 韓国産30キロ以上の大型の太平洋クロマグロの取り扱い

- 2016年3月2日（水）～5日（土）にかけて、韓国のまき網漁船が、30キロ以上の大型の太平洋クロマグロを約470トン漁獲し、釜山（プサン）共同魚市場に水揚げしたことを確認。
- このため、水産庁では、3月4日（金）及び7日（月）、韓国政府に対し、①大型クロマグロの漁獲の停止、②既に漁獲された大型魚の日本への輸出の停止を要請。
- また、日本の関係業者に対し、3月7日付けで、大型の韓国産太平洋クロマグロの輸入手続きや取扱いを行わないよう要請。
- これに対し、韓国政府は、3月5日（土）、WCPFCの保存管理措置の履行のためとして、輸出に必要な漁獲証明書の発行中断と、操業自粛命令を関連機関と業界に要請。

・太平洋クロマグロの輸入情報管理

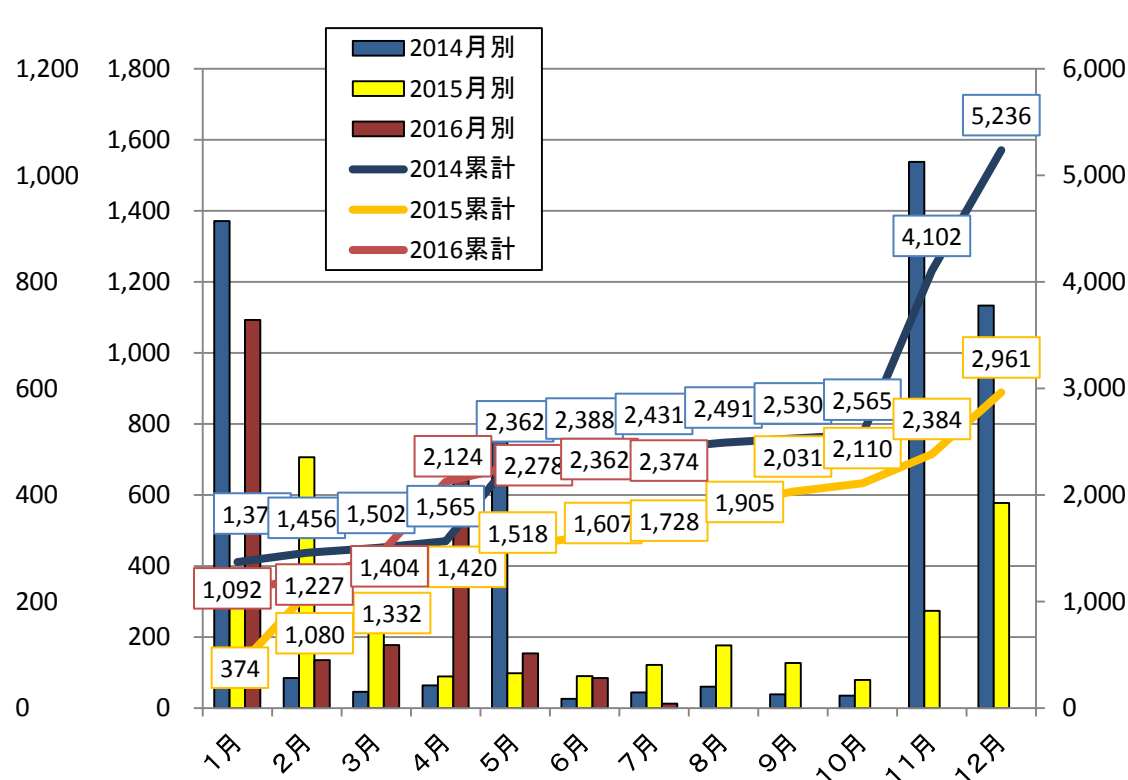
○「まぐろ法」に基づき、2010年より国内の流通業者（輸入業者、卸売業者）から韓国産及びメキシコ産の太平洋クロマグロの輸入情報を収集する取組みを実施

月別輸入量 (t)



韓国からの太平洋クロマグロ輸入量

累計輸入量 (t) 月別輸入量 (t)



メキシコからの太平洋クロマグロ輸入量

注: まぐろ法に基づく報告徴収等により作成 (2016年8月現在)